

# 「阿蘇の草原キッズになろう！②野焼き編」

- [主催] 国立阿蘇青少年交流の家  
[共催] 阿蘇草原再生協議会  
阿蘇グリーンストック
- [後援] 熊本県教育委員会 阿蘇市教育委員会
- [期 日] 【事前学習】  
令和3年1月16日（土） 一の宮小学校  
令和3年2月16日（火） 阿蘇小学校  
【野焼き体験】  
令和3年2月5日（金） 一の宮小学校  
令和3年2月25日（木） 阿蘇小学校
- [活動場所] 【事前学習】  
阿蘇青少年交流の家、阿蘇小学校  
【野焼き体験】  
阿蘇青少年交流の家、町古閑牧野
- [参加者] 阿蘇市立一の宮小学校4年生66名（男子35名、女子31名）  
阿蘇市立阿蘇小学校5年生46名（男子26名、女子20名）  
阿蘇市立阿蘇小学校6年生49名（男子26名、女子23名）
- [講師] 市原 啓吉 氏（町古閑牧野組合 組合長）  
宮野ひろみ 氏（阿蘇グリーンストック）  
釜崎 笙 氏（町古閑牧野組合員）  
野焼きボランティア 延べ44名
- [担当職員] 尾家 義隆（企画指導専門職） 田中 英祐（事業推進室長）  
佐藤 倫子（企画指導専門職） 有木園和志（企画指導専門職）  
山川 昇椰（事業推進係員） 志賀 泰成（事業支援室主任）  
米村竜太郎（事業支援室係員） 堀澤亮太郎（事業支援室係員）

## 1 趣 旨

阿蘇郡市内の子供たちに、阿蘇の草原環境の現状を学ばせると共に、草原維持活動を実際に体験させることで、草原環境保全への意識を高めさせる。また、草原維持に携わる人々との出会いを通して、いろいろな生き方・考え方に気づかせ、地域を愛し、地域をよりよくしようとする心を育成する。

## 2 目 標

- 阿蘇の草原環境の現状と課題や野焼きが果たす役割を知ることができる。
- 阿蘇の草原環境を守っていくためにどうすればよいか、直接の見学や体験を通して学びながら、自分の考えをもつことができる。

## 3 事業展開

### 研修プログラム

	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00
事前学習		【草原学習】 「野焼きについて学ぼう！」		【体験活動】 火消し棒づくり	
野焼き体験		開 会 式	【体験活動】 松明づくり	【体験活動】 野焼き体験	閉 会 式



事前学習



火消し棒づくり



松明づくり



火入れ体験



火消し体験



閉会式での児童感想発表

## 4 成果と課題

### (1) 成果

- ・ 「大きくなって野焼きボランティアとして草原を守っていきたい。」や「体験をしたから、野焼きについて知らない人に教えてあげたい。」「ごみの無いきれいな草原にしていきたい。」などの感想から、阿蘇の草原についての理解を深め、自分たちが次世代の阿蘇の草原保全の担い手になるのだという自覚と意欲をもたせることができたことが伺える。
- ・ 「ジェットシューターを背負うと重くて、丘に登る時も大変だと思うので、ボランティアさんはすごいなと思った。」や「昔の人たちは、もっと苦労して野焼きをしていたと思うので、本当にすごい。」「草原を守るためにこんなに大変な作業を毎年やっていると思うとすごい。」などの感想から、体験を通して参加児童が草原維持に携わる人々の努力や苦労を知ることができたことが伺える。
- ・ 事前学習にて野焼きにおける安全指導を行うとともに、野焼きの服装や安全管理体制についての資料を参加者及び保護者へ配布したり、綿製の耐火服を全参加児童へ貸し出したりしたことが、安心して参加してもらうための一助となった。

### (2) 課題

- ・ 草原キッズプロジェクトの趣旨からも、広く体験参加校を募ることも検討する必要がある。
- ・ 火消し棒用のカズラ採取については、時間と人を要するため、次年度以降は所内で採取できるカズラについては、労務作業員に依頼する等、業務の効率化を図る必要がある。